	ションマンドラ	専門学校	開講年月	食 平成20年度	(2017年度)	授業科目	毎運論 I		
科目基礎		ᇌᄀᅷᄶ	lガl <del>のサイ</del> /	×   1 /3&23 <del>+</del> /又	(2017 十/又)	JX <del>*</del> /17	少生品 1		
<u>14日至1</u> 科目番号		0162			科目区分	専門 / 必修			
村日留亏 授業形態		授業			単位の種別と単位				
成条形感 開設学科		商船学科	શ		対象学年	4	1		
開設期		前期	4		週時間数		2		
<sup>囲設期</sup> 教科書/教材		1		ロ木の海海に山頂					
双杆音/系 担当教員		笹谷 敬		ロ本の海里SHIP	TING NOW 日本加土	协工			
		世台 姒							
到達目									
		容を理解する	<b>ప</b> .						
ルーノ	リック		TEMATICAL A TAILY AND A TAILY		1#34444 1 - 7434 1				
W T V		TED 1 08	-	レベルの目安	標準的な到達レベ	ルの目安	未到達レベル	ルの目安	
字科の	到達日標	項目との関	月係						
教育方法	法等								
概要		速に進展	海運業の現状と内容を理解することを目標とし、海上輸送形態及び実際の輸送貨物の取り扱い等基礎的事項を学ぶ。怠 速に進展する海運業の現状を把握する。						
授業の進	め方・方法	板書き、	パワーポイント	を利用し、学生との	)質疑応答を出来るだけ	取り、理解度を確	針かめながら記	構義を進めるように努	
注意点		六 (1) (2) (2) (2) 板 (3) 板 (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	物の取扱いおよび物の取扱い、積付 物の取扱い、積付 食物の運送中の管 美改善策 と含め、学生との 忍試験	債付け け及び保全 理 質疑応答を出来るた は願い出により追詞	科目の運用に関する科 ごけ取り、理解度を確か 忍試験を受けることが出	めながら講義を進	<b>並めるように</b> 勢	努める	
	面		1 10: 1 10:00						
		週	授業内容		证				
						シラバスの説明			
		1週	海運の現状			現在の海運の流れの説明			
		2週	近代海運の発展			近代海運の発展を通じて外航海運の現況と海運の特徴 を理解			
			船舶及び乗組員			船舶の技術革新及び船内職制の変遷及び労働の変化の 理解			
		3週	船舶及び乗組員					交 色 次 じ 力 歯 い 交 旧 い	
	1stQ	3週 4週	船舶及び乗組員 船舶の調達				宣置籍船の傭		
	1stQ					2解 船の調達及び便1			
	1stQ	4週	船舶の調達		理 船 定 <i>上</i> 不	理解 沿舶の調達及び便団 関船市場の形成、 なについて理解	コンテナ化成とその特色	船の理解 の経緯、コンソーシア	
前期	1stQ	4週 5週 6週 7週	船舶の調達定期船市場		理 般 定 <i>と</i> 不 ヤ	経解 新の調達及び便可能の調達及び便可能を のまます。 「はついて理解 を対象がある。」 「ではいるでは、 「ではいるでは、 「ではいるでは、 「ではいるでは、 「はいるでは、 「はいるではいるではいるでは、 「はいるではいるではいるでは、 「はいるではいるではいるでは、 「はいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるで	コンテナ化 成とその特色 理解	船の理解 の経緯、コンソーシア	
前期	1stQ	4週 5週 6週 7週 8週	船舶の調達 定期船市場 不定期船市場		理 般 定 <i>と</i> 不 ヤ	経解 新の調達及び便可能の調達及び便可能を のまます。 「はついて理解 を対象がある。」 「ではいるでは、 「ではいるでは、 「ではいるでは、 「ではいるでは、 「はいるでは、 「はいるではいるではいるでは、 「はいるではいるではいるでは、 「はいるではいるではいるでは、 「はいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるで	コンテナ化 成とその特色 理解	船の理解 の経緯、コンソーシア インダストリアルキ	
前期	1stQ	4週 5週 6週 7週 8週 9週	船舶の調達 定期船市場 不定期船市場 タンカー市場 中間試験 内航海運につい		理 般 定 <u>ゲ</u> 不 ヤ ち	解 対角の調達及び便 に期船市場の形成、 について理解 を定期船市場の構成 でリッジについて アンカー市場の公 の の の の の の の の の の の の の	コンテナ化 或とその特色 里解 エとそのとく	船の理解 の経緯、コンソーシア インダストリアルキ しょくについて理解	
前期	1stQ	4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	船舶の調達 定期船市場 不定期船市場 タンカー市場 中間試験 内航海運につい 同上	τ	理 般 定 <i>上</i> イヤ タ 内	解 公舶の調達及び便」 定期船市場の形成、 について理解 で定期船市場の構成 で対象についてする。 アンカー市場の公司 の航海運の輸送構成 引上	コンテナ化 成とその特色 里解 Eとそのとく 造について理	船の理解 の経緯、コンソーシア インダストリアルキ しょくについて理解 解	
前期	1stQ	4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	船舶の調達 定期船市場 不定期船市場 タンカー市場 中間試験 内航海運につい 同上 海運用役取引実	て 務(1)	理 船 定 上 不 た 今 内 に た に た に た に た た た た た た た た た た た た	解 治的の調達及び便ご 期船市場の形成、 はこついて理解 を定期船市場の構成 フリッジについて3 フンカー市場の公式 の航海運の輸送構造 の計算である。	コンテナ化 成とその特色 里解 Eとそのとく 造について理 当事者につい	船の理解 の経緯、コンソーシア インダストリアルキ しょくについて理解 解 て理解	
前期		4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	船舶の調達 定期船市場 不定期船市場 タンカー市場 中間試験 内航海運につい 同上 海運用役取引実 海運用役取引実	て 務(1) 務(2)	理 船 定 イ イ ヤ ク	解 治的の調達及び便ご 期船市場の形成、 について理解 を定期船市場の構造 フッジについて到 フッカー市場の公司 の前海運の輸送構造 は に選業界に携わると に表する。 に表する。 には、 に対していていている。 に対している。 に対している。 に対している。 に対しいている。 に対しいている。 に対しいている。 に対しいている。 に対しいている。 に対しいている。 に対しいている。 に対しいている。 に対しいている。 に対しいている。 に対しい。 に対しいる。 にがしいる。 にがしいる。 には、 にはいる。 にはいる。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。	コンテナ化 成とその特色 里解 Eとそのとく 造について理 当事者につい	船の理解 の経緯、コンソーシア インダストリアルキ しょくについて理解 解 て理解	
前期	1stQ 2ndQ	4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	船舶の調達 定期船市場 不定期船市場 タンカー市場 中間試験 内航海運につい 同上 海運用役取引実	て 務(1) 務(2)	理 船 定 <u>ノ</u> 不 た 今	解的調達及び便定期船市場の形成、について理解を定期船市場の構成して理解を定期船市場の構成でしてする。 アンカー市場の公司航海運の輸送構造。 は、要求に携わる意味を表す。 は、関係を表する。 は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	コンテナ化 或とその特色 里解 Eとそのとく 造について理 当事者につい 肉の種類及び	船の理解 の経緯、コンソーシア インダストリアルキ しょくについて理解 解  て理解 書類 等	
前期		4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	船舶の調達 定期船市場 不定期船市場 タンカー市場 中間試験 内航海運につい 同上 海運用役取引実 海運用役取引実	て 務(1) 務(2) 務(3)	理 船 定 イ イヤ ク 体 后 道 道 に 油 道	解 治的の調達及び便ご 期船市場の形成、 について理解 を定期船市場の構造 フッジについて到 の力・市場の公司 が加速で が が加速で が加速で が加速で が一 が一 が一 が一 が一 が一 が一 が一 が一 が一	コンテナ化 或とその特色 里解 Eとそのとく 造について理 当事者につい 肉の種類及び	船の理解 の経緯、コンソーシア インダストリアルキ しょくについて理解 解 て理解 書類 等	
前期		4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	船舶の調達 定期船市場 不定期船市場 タンカー市場 中間試験 内航海運につい 同上 海運用役取引実 海運用役取引実 海運用役取引実	て 務(1) 務(2) 務(3) 管理	理 船 定 イ イヤ ク 体 后 道 道 に 油 道	解的調達及び便定期船市場の形成、について理解を定期船市場の構成して理解を定期船市場の構成でしてする。 アンカー市場の公司航海運の輸送構造。 は、要求に携わる意味を表す。 は、関係を表する。 は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	コンテナ化 或とその特色 里解 Eとそのとく 造について理 当事者につい 肉の種類及び	船の理解 の経緯、コンソーシア インダストリアルキ しょくについて理解 解  て理解 書類 等	
前期		4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	船舶の調達 定期船市場 不定期船市場 タンカー市場 中間試験 内航海運につい 同上 海運用役取引実 海運用役取引実 海運用役取引実 海運用役取引実 海運用役取引実	て 務(1) 務(2) 務(3) 管理	理 船 定 之 不 た 今	解 治的の調達及び便ご 期船市場の形成、 について理解 を定期船市場の構造 フッジについて到 の力・市場の公司 が加速で が が加速で が加速で が加速で が一 が一 が一 が一 が一 が一 が一 が一 が一 が一	コンテナ化 或とその特色 里解 Eとそのとく 造について理 当事者につい 肉の種類及び	船の理解 の経緯、コンソーシア インダストリアルキ しょくについて理解 解  て理解 書類 等	
	2ndQ	4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	船舶の調達 定期船市場 不定期船市場 タンカー市場 中間試験 内航海運につい 同上 海運用役取引実 海運用役取引実 海運用役取引実 海運用役取引実 海運用役取引実	て 務(1) 務(2) 務(3) 管理 授業 アンケート	理 船 定 之 不 た 今	解 治的の調達及び便ご 期船市場の形成、 について理解 を定期船市場の構造 フッジについて到 の力・市場の公司 が加速で が が加速で が加速で が加速で が一 が一 が一 が一 が一 が一 が一 が一 が一 が一	コンテナ化 或とその特色 里解 Eとそのとく 造について理 当事者につい 肉の種類及び	船の理解 の経緯、コンソーシア インダストリアルキ しょくについて理解 解  て理解 書類 等	
モデル	2ndQ	4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 キュラムの	船舶の調達 定期船市場 不定期船市場 タンカー市場 中間試験 内航海運につい 同上 海運用役取引実 海運用役取引実 海運用役取引実 海運用役取引実 海運用役取引実 海運用役取引実	て 務(1) 務(2) 務(3) 管理 授業 アンケート 別達目標	理 船 定 子 不 た ら 体 同 海 道 同 海	解 治的の調達及び便ご 期船市場の形成、 について理解 を定期船市場の構造 フッジについて到 の力・市場の公司 が加速で が が加速で が加速で が加速で が一 が一 が一 が一 が一 が一 が一 が一 が一 が一	コンテナ化成とその特色 理解 正とそのとく 造について理 当事者につい 的の種類及び 職、労務管理	船の理解 の経緯、コンソーシア インダストリアルキ しょくについて理解  で理解 書類 等 、便宜置籍船の増大に	
モデル:分類	2ndQ コアカリ	4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	船舶の調達 定期船市場 不定期船市場 タンカー市場 中間試験 内航海運につい 同上 海運用役取引実 海運用役取引実 海運用役取引実 海運用役取引実 海運用役取引実	て 務(1) 務(2) 務(3) 管理 授業 アンケート	理 船 定 子 不 た ら 体 同 海 道 同 海	解 治的の調達及び便ご 期船市場の形成、 について理解 を定期船市場の構造 フッジについて到 の力・市場の公司 が加速で が が加速で が加速で が加速で が一 が一 が一 が一 が一 が一 が一 が一 が一 が一	コンテナ化成とその特色 理解 正とそのとく 造について理 当事者につい 的の種類及び 職、労務管理	船の理解 の経緯、コンソーシア インダストリアルキ しょくについて理解 解  て理解 書類 等	
モデル:分類	2ndQ コアカリ 合	4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 キュラムの	船舶の調達 定期船市場 不定期船市場 タンカー市場 中間試験 内航海運につい 同上 海運用役取引実 海運用役取引実 海運用役取引実 海運用役取引実 海運用役取引実 海運用役取引等 方 資際のと至 学習内容と至	て 務(1) 務(2) 務(3) 管理 授業 アンケート 財達目標 学習内容の到達	理 船 定 之 不 ヤ タ 内 同 油 選 同 油	解的調達及び便可能の調達及び便可能の調達及び便可能の調達及び便可能を受けて、一個では、「」」という。  「「一個では、「一個では、「一個では、「一個では、「一個では、」」と、「一個では、「一個では、「一個では、」」という。 「「一個では、「一個では、「一個では、「」」という。「」」という。「」」という。「」」という。「」」という。「」」という。「」」という。「」」という。「」」という。「」」という。「」」という。「」」という。「」」という。「」」という。「」は、「一個では、「」」という。「」は、「」」という。「」は、「」」という。「」は、「」は、「」は、「」は、「」は、「」は、「」は、「」は、「」は、「」は、	コンテナ化 成とその特色 里解 正とそのとく 造について理 当事者につい 内の種類及び 職、労務管理	船の理解 の経緯、コンソーシア インダストリアルキ しょくについて理解 解 て理解 書類 等 、便宜置籍船の増大に	
モデル. <sup>分類</sup> 評価割	2ndQ コアカリ 合	4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 キュラムの	船舶の調達 定期船市場 不定期船市場 タンカー市場 中間試験 内航海運につい 同上 海運用役取引実 海運用役取引実 海運用役取引実 海運企業の経認 答案返却 容と 登習内容 発表	て 務(1) 務(2) 務(3) 管理 授業 アンケート 別達目標 学習内容の到達	日 かん	解 論的の調達及び便定期船市場の形成、について理解 定期船市場の構造 リッジについて理解 でかから でから できない できない 一市場の公司 という できない 一市場の公司 という できない 一様 おいて から はい できない できない できない できない できない できない できない できな	コンデナ化 成とその特色 里解 Eとそのとく 造について理 当事者につい 内の種類及び 載、労務管理 型	船の理解 の経緯、コンソーシア インダストリアルキ しょくについて理解 解 で理解 書類 等 、便宜置籍船の増大に   達レベル   授業週   合計	
分類 <b>評価割</b> 1 総合評価	2ndQ コアカリ 合 調合 0	4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 キュラムの 分野	船舶の調達 定期船市場 不定期船市場 タンカー市場 中間試験 内航海運につい 同上 海運用役取引実 海運用役取引実 海運用役取引実 海運用役取引実 海運の経営 成績評価・解説 の学習内容 発表 の	て 務(1) 務(2) 務(3) 管理 授業 アンケート 別達目標 学習内容の到達 相互評価 0	理 般 方 子 イヤ タ 内 同 海 道 同 海 1	解 論の調達及び便度 期船市場の形成、について理解 定期船市場の構成 について理解 定期船市場の位置 アンカー市場の公司 記算 できない (本語 ) は、	コンデナ化 成とその特色 里解 Eとそのとく 造について理 当事者につい 的の種類及び 載、労務管理 2 その他 0	船の理解 の経緯、コンソーシア インダストリアルキ しょくについて理解  で理解 書類 等 、便宜置籍船の増大に  「対策」  「合計 の	
モデル. <sup>分類</sup> 評価割:	2ndQ コアカリ 合 調合 0	4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 キュラムの	船舶の調達 定期船市場 不定期船市場 タンカー市場 中間試験 内航海運につい 同上 海運用役取引実 海運用役取引実 海運用役取引実 海運企業の経認 答案返却 容と 登習内容 発表	て 務(1) 務(2) 務(3) 管理 授業 アンケート 別達目標 学習内容の到達	理 が を を を を を を を を を を を を を	解 論的の調達及び便定期船市場の形成、について理解 定期船市場の構造 リッジについて理解 でかから でから できない できない 一市場の公司 という できない 一市場の公司 という できない 一様 おいて から はい できない できない できない できない できない できない できない できな	コンデナ化 成とその特色 里解 Eとそのとく 造について理 当事者につい 内の種類及び 載、労務管理 型	船の理解 の経緯、コンソーシア インダストリアルキ しょくについて理解  不理解 書類 等 、便宜置籍船の増大に  「対達レベル」授業週  「合計	